

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

地域の中の事業所、専門職、活動団体、地域の方で集まり「これからも住み慣れた釜利谷で安心して暮らしていくために」について一緒に考える会「かまもりや一の」を参加者で立ち上げ、地域の方から多くの意見、情報共有や話し合いを重ねてきた。専門職と地域住民の繋がり、共に話し合う場が必要であり、その中からケアプラザが担える物は実施しながら、事業所と地域住民の枠を超えた地域での見守り支え合いの地域づくりを必要である。また、地域から認知症に対する相談は増えており、講演会の依頼もある、すべての地域住民が正しく理解し普及啓発していく必要がある。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・今年度も、これまで出た課題を元に、地域住民、支援・活動団体、関係機関と共に「かまもりや一の」を通じて活動をすすめる。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・「かまもりホルダー」の周知を継続し、必要な時に緊急連絡先などの個人情報適切に取り扱対応する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・地域の団体、企業等向けの、認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイト連絡会やイベント等を実施する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・ 買い物をすると、配達してくれる商店の調査を行い、情報をまとめて地域住民等に知らせる。 ・ 近所で新鮮野菜を販売している直売所を伝え、外出のきっかけを作る。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・認知症の方やその家族、支援者等が集まり、交流や情報交換の場となる「かまもりやサロン」を実施する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

「かまもりや一の」では、更に地域の繋がりや見守り強化を目的に、東京都長寿医療センター研究所に講師を依頼し「いつもの活動で健康づくり 自分も地域も健康になろう！」の講話後グループワークを行い、昨年度より開始している「あいさつ運動」を発展させるため、担当エリアの小学校に参加いただき多世代の活動になるように進めていく。また、「かまもりホルダー」を開始して1年経過し、登録者の「更新」のご案内の電話を掛け、きめ細かいフォローも行って、所持者の安心に繋がっている。認知症カフェ「かまもりやサロン」では、毎月定例で参加の方、新しい方も参加しやすい雰囲気をつくり人数は増えている。また、協力医の参加があり医療的な話も相談できており、今後も継続開催をしていく。

区からのコメント

「かまもりや一の」を活用し地域課題や取組の検討を行い、住民主体の活動、取組につなげています。また地域活動や課題など地域のニーズにあった講演会や研修会を開催し、参加者で具体的な取組等を勧める機会を設けることで、具体的な取組の支援や拡充を図っています。「かまもりホルダー」の更新についても、事務的に更新作業を行うのではなく、利用者の状況等を聞き取り、確認することで安心して生活できるよう支援を行っています。今後も「あいさつ運動」の発展の中で、圏域内で生活するすべての人の顔の見える関係を支援し、相互に見守りあうことができる地域づくりを進めていただくようお願いします。